
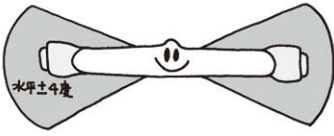


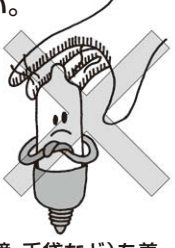
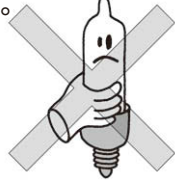
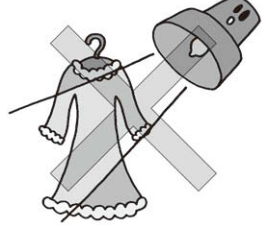
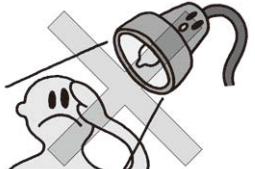
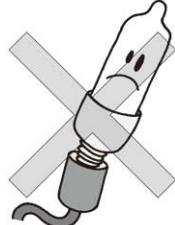

「ハロゲン電球」を安全にご使用いただくために

安全上の注意

警告

<p>紙や布などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。</p>  <p>火災や器具過熱の原因となります。</p>	<p>点灯方向に指定のある電球は、必ず指定方向で使用してください。</p>  <p>器具が過熱したり、フィラメントが変形して短寿命や破損によるケガの原因となります。</p>	<p>ガラス球内部の圧力が高いため、落としたり、物をぶつかけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。</p> <p>(特に器具の清掃のときは、ご注意ください。)破損した場合、ガラス破片が飛散しケガの原因となります。</p>
<p>適合した器具(ソケット、トランスなど)で指定されたワット数の電球を必ず使用してください。</p> <p>短寿命、破損によるケガ、あるいは器具の過熱などの原因となります。</p>	<p>取り付け、取り外しや器具清掃のときは、必ず電源を切ってください。</p> <p>感電の原因となります。</p>	<p>前面ガラス付き反射形などは、割れたままでは絶対に点灯しないでください。</p> <p>感電、破損、落下によるケガの原因となります。</p>

注意

<p>点灯中や消灯後しばらくは、電球が熱いので絶対に手や肌などを触れないでください。</p>  <p>ヤケドの原因となることがあります。</p> <p>●交換や清掃は十分に冷えてから保護具(眼鏡、手袋など)を着用して行ってください。破損してケガの原因となることがあります。</p>	<p>素手や汚れた手袋で触れないでください。</p>  <p>ガラス球が劣化して、ケガ、火災、破損の原因となることがあります。(ネオハロクルタイプを除く)</p> <p>●きれいな手袋などを使用してください。汚れた場合はアルコールなどを浸したきれいな布で拭きとってください。</p>	<p>電球の前に接近して、品物や遮蔽物をおかないでください。</p>  <p>(光と共に熱が多く出ています。)品物などが過熱し、変形、変色したり、火災の原因となることがあります。</p>
<p>【舞台・スタジオ用電球、ビデオ・写真撮影用電球・保護シールドを必要とする用途用電球】 保護シールド(前面ガラス)のついた器具で使用してください。</p>  <p>破損した場合ガラス破片が飛散しケガの原因となることがあります。</p>	<p>ソケットに確実に取り付けてください。</p>  <p>電球の落下や接触不良による過熱、発煙の原因となることがあります。</p>	<p>酸、アルカリ、硫黄などの腐食性雰囲気のところ(温泉地など)では、一般器具によるランプの使用はしないでください。</p>  <p>漏電や落下・破損によるケガの原因となることがあります。</p> <p>●耐食構造の器具を使用してください。</p>

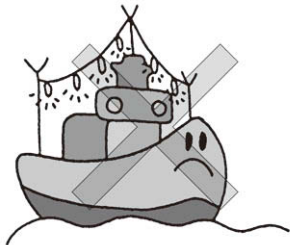
次頁へ続く →

安全上の注意

→前頁の続き

⚠ 注 意

一般形ハロゲン電球は、集魚灯用に使用しないでください。



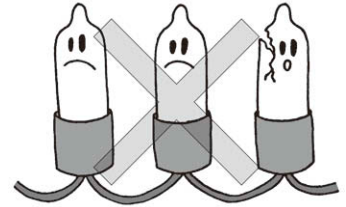
破損や短寿命の原因となることがあります。

点灯中の電球を間近で長時間見つめないでください。



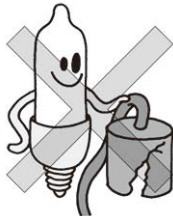
目が痛くなったり、視力障害の原因となることがあります。

〔ネオハロゲンミニなどの低電圧〕電球
直列点灯で使用しないでください。



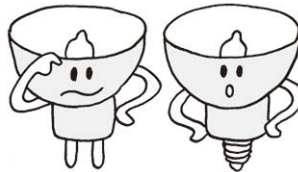
短寿命や破損・ガラス球飛散の原因となることがあります。

ソケットの接点部が損傷していないか等を点検してください。



不点灯や過熱の原因となることがあります。
●ソケットの接点に変形したり、表面が酸化している場合は、ソケットを交換してください。

〔ネオハロビームなどの低電圧〕反射形電球
取り外す時は、口金の種類(ネジ込み、さし込み)に注意してください。



誤った着脱をすると破損によるケガの原因となることがあります。

引火する危険性の雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、粉塵など)で使用しないでください。

火災や爆発の原因となることがあります。
●防爆構造の器具を使用してください。

粉塵の多いところでは、一般器具による電球の使用はしないでください。

器具の過熱・短寿命や火災・爆発の原因となることがあります。
●密閉構造の器具を使用してください。但し、爆発性・可燃性粉塵の場合は、防爆構造の器具を使用してください。

雨や水滴のかかる状態や、湿度の高いところで使用しないでください。

絶縁不良、破損、落下などによるケガの原因となることがあります。

塗料などを塗らないでください。

電球が過熱し、破損による火災やケガの原因となることがあります。

表示された電圧で使用してください。

高い電圧で使用すると短寿命や、破損・ガラス球飛散・器具過熱の原因となります。

振動や衝撃を与えないでください。

短寿命や破損・ガラス球飛散・落下の原因となることがあります。

定格寿命(〇〇時間)を経過した電球は、交換をおすすめします。

まれに口金外れ、器具過熱・破損・落下によるケガの原因となることがあります。

退色をさけたい場合には、使用しないでください。

使用済みの電球は割らずに廃棄してください。

電球を割るとガラス破片が飛散し、ケガの原因となることがあります。

「ハロゲン電球」を安全にご使用いただくために

ご使用上の注意

<p>反射鏡内面には直接素手でふれないでください。汚れたまま点灯すると、劣化して短寿命の原因となることがあります。きれいな手袋などを使用してください。汚れた場合はアルコールなどを浸したきれいな布で拭きとってください。</p>	<p>【器具設計上の注意】 両口金形電球の接点（口金部）に加わる圧力は、20～35N（銀接点の場合は10～35N）の範囲にしてください。</p>	<p>【器具設計上の注意】 ヒューズの使用が指定された電球：寿命末期にまれに起こる破損のおそれを少なくするため、器具には必ず指定のヒューズを取り付けてください。</p>
<p>【器具設計上の注意】 封止部の温度が350℃を超えない状態で使用してください。 適合器具の設計または選択をしてください。</p>	<p>【器具設計上の注意】 点灯中の管壁温度が250℃以下では使用しないでください。</p>	<p>【器具設計上の注意】 カタログなどで指定された品種以外：点灯中の管壁温度は900℃以下で使用してください。 適合器具の設計または選択をしてください。</p>

ハロゲン電球の故障診断

故障状態	原因	対策
最初から点灯しない。	電気がきていない。	テスター、電圧計で電源電圧を調べてください。
	口金とソケットの接触不良。	口金を正しく装着してください。
	電球不良（輸送、取扱い中のフィラメント断線）。	電球を取り替えてください。 電球の取り扱いはていねいにしてください。
最初点灯したが、すぐつかなくなる。	電源電圧の間違い。	電球の定格電圧と異なった電圧がきていないか、テスターで調べてください。
	ガラス球にひびが入り、空気が入ってしまう。（スローリークといい、ガラス球内部に白色の付着物が生じます。）	電球を取り替えてください。 電球の取り扱いはていねいにしてください。
	電源のブレーカー、ヒューズが切れる。	ソケットが異常ショートしていないか調べてください。他の電気器具を含めた容量を配線容量以下にしてください。
	ソケットの接触不良。	ソケットの接触部を調べてください。
短時間でつかなくなる。	電源電圧が高すぎる。	テスターで調べ、電源電圧に適応した電球を使用してください。
	振動が大きい。	取り付け方法を変更したり、振動が加わらないようにしてください。
	衝撃が加わる。	取り付け方法を変更したり、衝撃が加わらないようにしてください。
	器具の指定ワット数と異なる電球を使用している。	器具に合った電球をお使いください。
	点滅が激しい。	頻繁な点滅はおやめください。
	屋内用電球に使用中水滴が当たりガラス球にひびが入った。	取り付け位置を変更したり、適応した屋外用器具で使用してください。
点灯するが暗い。	電源電圧が低い。	電圧を正しく直すか、電圧にあった電球を使用してください。
	バルブが黒化している。	新しい電球と取り替えてください。
	電球、器具が汚れている。	時々掃除をしてください。
電球が割れる。	屋内用電球に水滴が当たる。	取り付け場所を変えたり、水滴が当たる場所では屋外用器具をお使いください。
	器具の一部にガラス球が接触する。	正常に取り付けてください。
	固いものがぶつかる。	カバーなどを取り付け、ぶつからないようにしてください。
	石英バルブの一部が白濁（失透現象）している。	電球を取り替えてください。 素手で触れたりした時はアルコールで表面をクリーニングしてください。
	電球の外面にペイントなどを、あとから塗ったり、貼ってある。	新しい電球と取り替えてください。
口金がとれる。	器具の指定ワット数と合わず、口金部の温度が高すぎる。	器具に合った電球を使用してください。